

三島市の財政状況

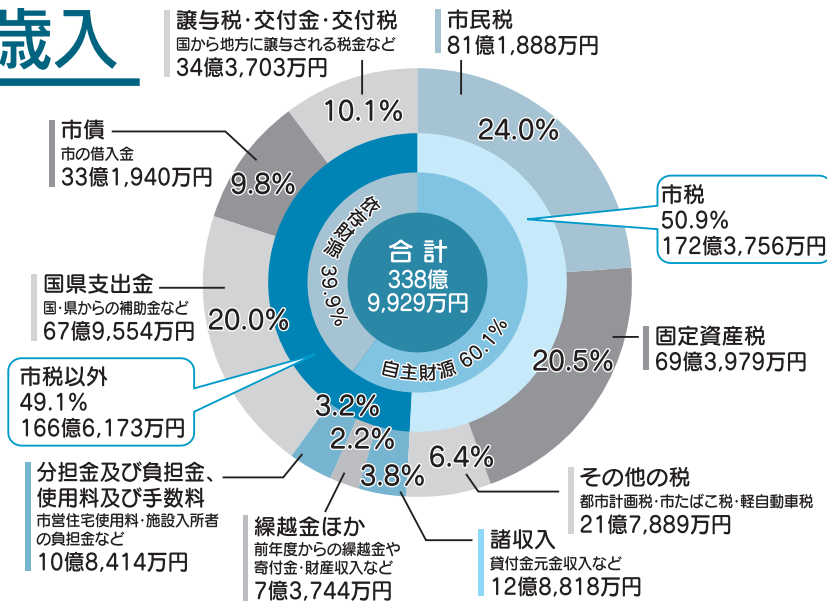
市民の皆さんに納めていただいた税金の使いみちや、市の財政状況を毎年6月と12月に公表しています。今回は、平成25年度の決算と、平成26年度上半期の予算執行状況についてお知らせします。☎財政課（☎983-2622）

一般会計

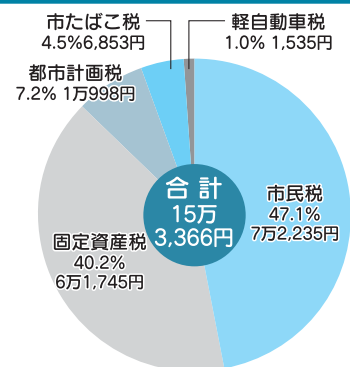
平成25年度の一般会計は、当初338億7,100万円で出発しましたが、国の好循環実現のための経済対策を受けた事業などの補正と、前年度からの繰越事業を含め、最終予算は351億5,709万円となりました。

これに対し決算額は、収入額が338億9,929万円、支出額が331億829万円となっています。この決算額を前年度と比べると、収入は1.6%、支出は0.5%の増加となりました。

歳入

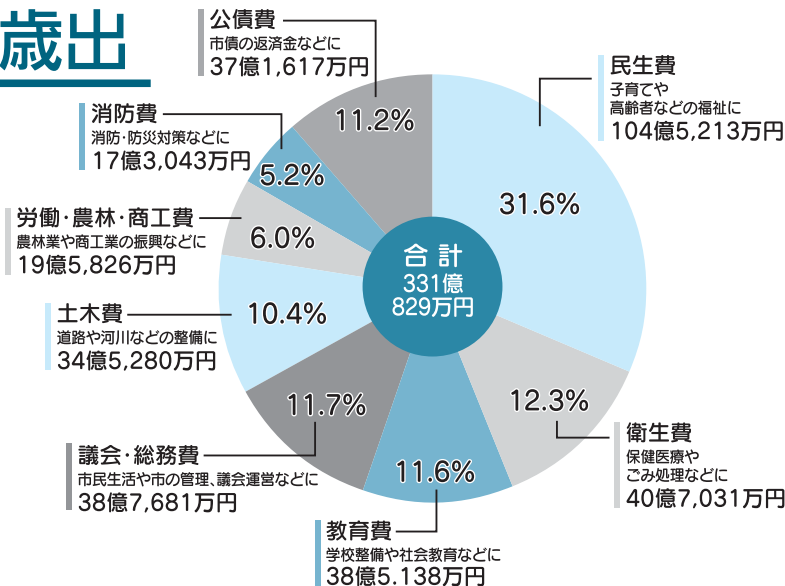


市税収入を市民1人あたりに換算すると…

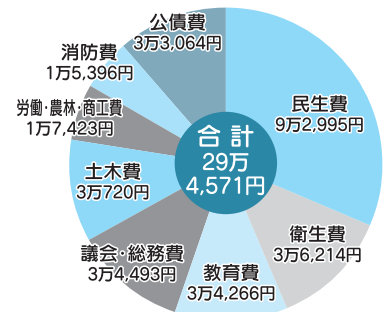


歳入の約50%はみなさんからの市税
一般会計で見ると、市の収入の約半分は、市民や企業のみなさんから納めていただく市税で賄われています。

歳出



歳出を市民1人あたりに換算すると…



支出は市税収入の約2倍

市民一人あたりで見ると、29万4,571円が使われました。納めていただいた15万3,366円の税金と国や県からの補助金などを活用し、約2倍の行政サービス(支出)を提供しています。

▶使いみちは福祉関係費用がトップ

歳出を目的別に見ると、民生費(福祉関係予算)が約3割を占め、最も多くなっています。

※記事中で市民一人あたりに換算した金額は、平成26年3月31日現在の人口11万2,395人で計算しています。

平成25年度に実施された主な事業

- ガーデンシティみしま推進事業
- 菰池公園整備事業
- 都市計画街路、市道の整備（谷田幸原線ほか）
- 公営住宅整備事業
- ごみ処理施設基幹的設備整備事業
- スマートウエルネスみしま推進事業
- 北上中学校柔剣道場建設事業
- 東小学校プール改修事業
- 史跡山中城跡再整備事業
- 市民文化会館施設整備事業
- 子ども・未熟児養育医療費支給事業
- 障がい児者への支援事業
- 高齢者生きがい対策事業
- 郷土資料館耐震補強事業
- 消防通信指令センター庁舎建設事業 など



▲小山橋側道橋



▲北上中学校柔剣道場



▲スマートフォン用健幸アプリ「みしまあらく」



▲消防通信指令センター庁舎

特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	128億3,067万円	122億4,085万円
介護保険	67億2,171万円	65億5,523万円
後期高齢者医療	10億8,482万円	10億8,107万円
墓園事業	1,024万円	448万円
下水道事業	29億6,456万円	29億1,303万円
楽寿園	2億490万円	2億179万円
駐車場事業	1億3,238万円	1億2,645万円
合計	239億4,928万円	231億2,290万円

水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的収支	12億6,609万円	12億4,566万円
資本的収支	2億5,947万円	7億1,649万円

市債（借りているお金）の年度末現在高

区分	市債現在高	
一般会計	教育施設	78億4,938万円
	土木施設	76億6,493万円
	清掃衛生施設	1億5,628万円
	公営住宅施設	12億4,537万円
	福祉施設	14億4,695万円
	その他	195億7,655万円
	一般会計合計	379億3,946万円
	特別会計	下水道事業
楽寿園		5,976万円
駐車場事業		3,758万円
特別会計合計		192億7,934万円
公営企業会計	水道事業	32億4,823万円

用語の説明

一般会計 市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・県からの支出金などを財源にしているものです。市民の皆さんに最もかかわりの深い予算といえます。

特別会計・公営企業会計 特定の事業や特定の収入で行う事業の場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置します。三島市では国民健康保険事業など8つの会計があります。この中で水道事業会計は企業会計方式を用い、独立採算制で事業・経理を行っています。

市税 地方税法により、市民税、固定資産税、軽自動車税などが定められています。（市では、資本金1億円超の法人に対して、法人市民税の法人税割に超過税率を適用しています。平成25年度の超過税率分の決算額7,912万円は、教育施設の整備に掛かった経費1億2,086万円の財源に充てさせていただきました。）

市債 学校や道路といった公共施設の整備などに対応するための、いわゆる市の借金です。主な借入先は国や県、銀行などです。